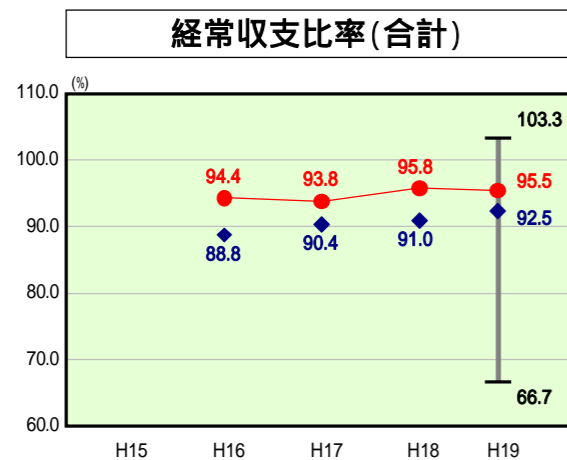


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

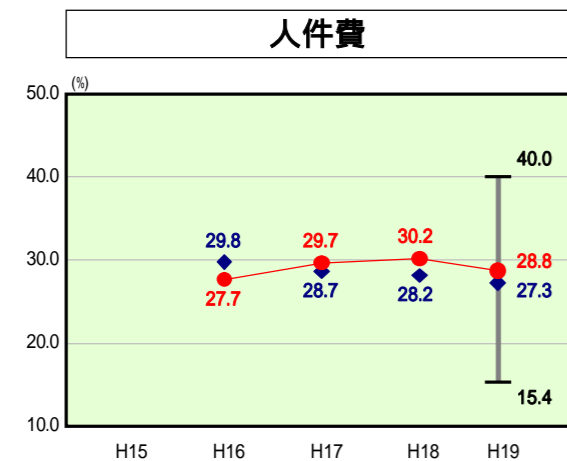
経常収支比率の分析



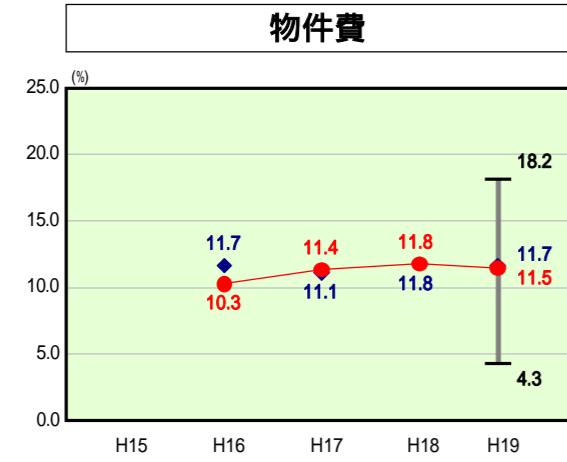
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 T
類似団体内最小値 J

人口	35,786人(H20.3.31現在)
面積	547.01 km ²
歳入総額	22,268,325千円
歳出総額	22,162,551千円
実質収支	36,230千円

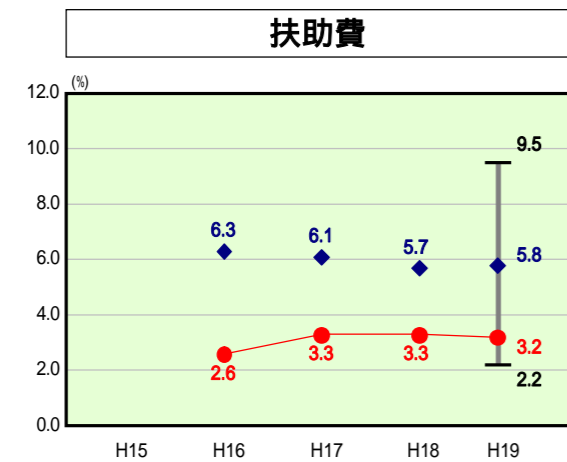
H19類似団体内順位 58/88
全国市町村平均 92.0
岡山県市町村平均 93.4



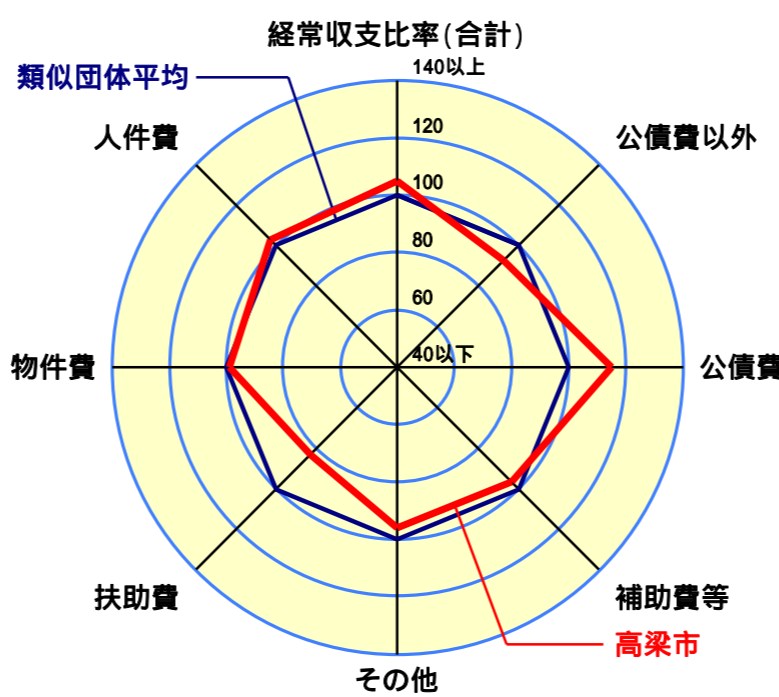
H19類似団体内順位 49/88
全国市町村平均 28.0
岡山県市町村平均 27.7



H19類似団体内順位 46/88
全国市町村平均 13.1
岡山県市町村平均 11.7



H19類似団体内順位 4/88
全国市町村平均 8.8
岡山県市町村平均 8.6



- 1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

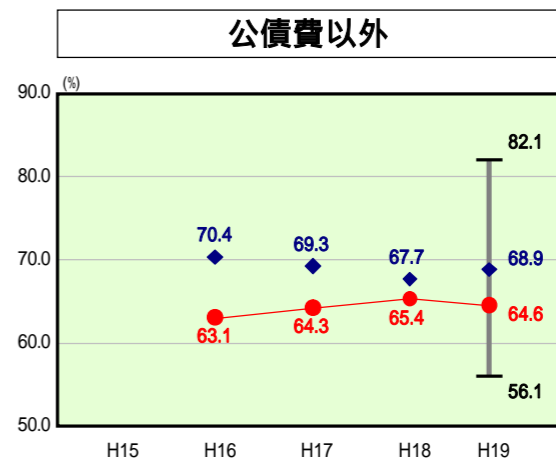
経常収支比率については、平成15年度までは80%台で推移していたが、平成16年度から交付税の削減による一般財源の減少により90%を超えることとなった。平成16年度の合併後、人件費、公債費等の増加により上昇してきたが、平成19年度決算においては、行革等の効果により減少に転じた。しかしながら、主に公債費の影響により、全国平均、岡山県平均、類似団体平均より高くなっている。

人件費(28.8%)については、合併による職員数の増加により、また、公債費(30.9%)については、合併前の普通建設事業に伴う起債発行額の増加に伴い高くなっている。

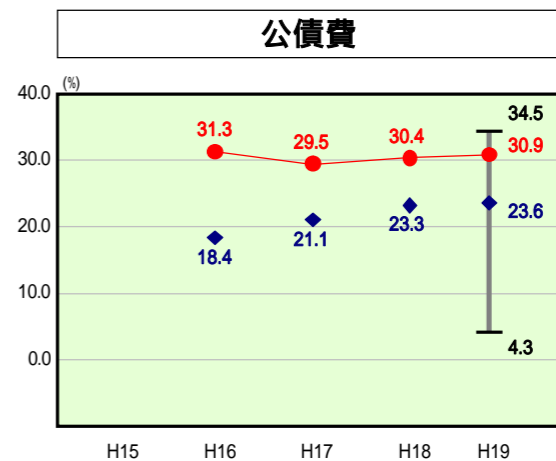
扶助費については、制度事業に伴う扶助費であるが、本市の場合、高齢化は進んでいるが、類似団体等に比べ、対象者数や利用者数が少ないため、平均を下回っている。

物件費、補助費等、その他については、類似団体と同様の数値となっているが、人件費、公債費で約60%を占めていることが全体として平均を上回っている大きな要因であるため、今後は、行財政改革大綱及び中期財政計画に基づき、職員数の計画的な削減による給与の抑制や地方債の発行抑制と公債費の繰上償還などにより、義務的経費の削減に努める。

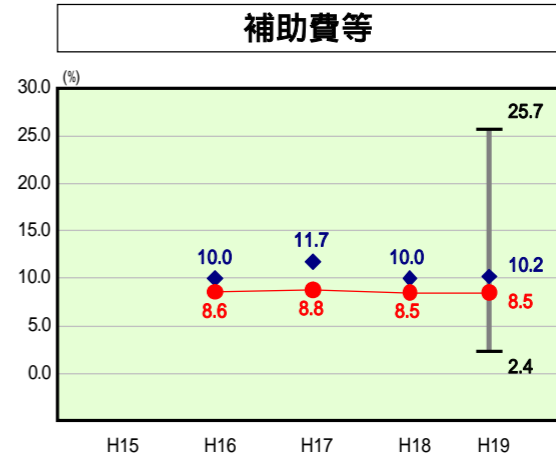
また、普通建設事業については、類似団体に比較し、人口1人当たりの額は多くなっているが、道路、上下水道、住宅、学校等の生活基盤整備を積極的に推進した結果である。しかしながら、実質公債費比率により起債許可団体となったため、19年度以降の事業費を大幅に見直した中期財政計画に基づき、事業費の縮小、繰り延べ等により新規の起債発行額を抑制することとしている。



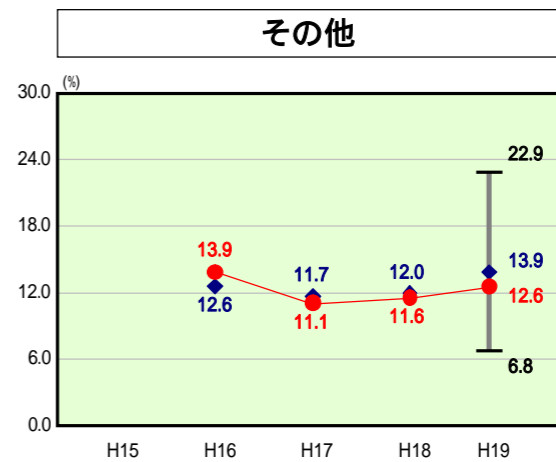
H19類似団体内順位 18/88
全国市町村平均 71.7
岡山県市町村平均 71.1



H19類似団体内順位 83/88
全国市町村平均 20.3
岡山県市町村平均 22.3



H19類似団体内順位 33/88
全国市町村平均 10.4
岡山県市町村平均 7.7

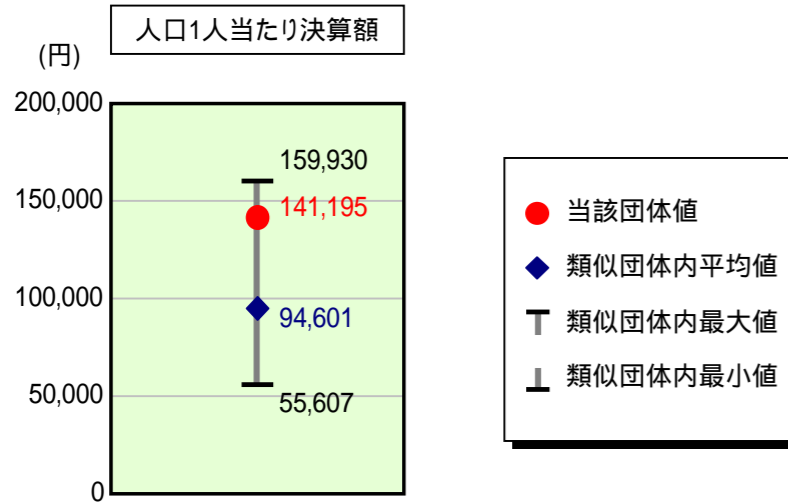


H19類似団体内順位 34/88
全国市町村平均 11.4
岡山県市町村平均 15.4

歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

岡山県 高梁市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

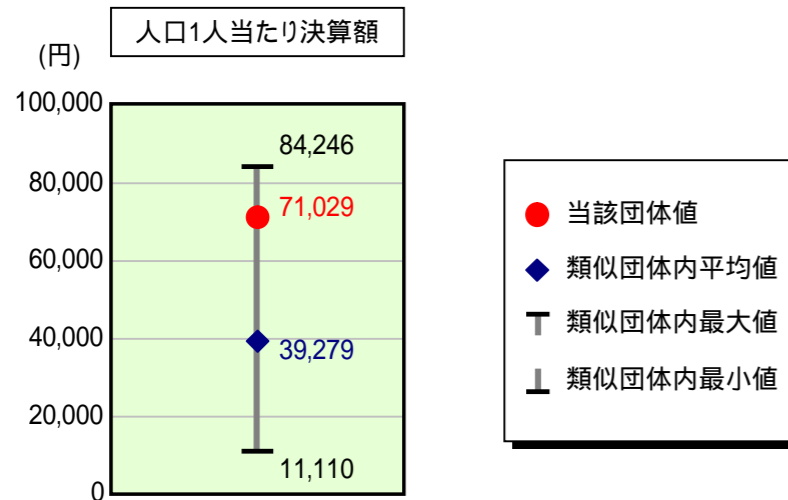
項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	4,857,227	135,730	87,999	54.2
賃金(物件費)	274,778	7,678	4,997	53.7
一部事務組合負担金(補助費等)	120,932	3,379	6,737	49.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	1,224	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	227,021	6,344	3,103	104.4
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	192,971	5,392	1,966	174.3
退職金	620,128	17,329	11,425	51.7
合計	5,052,801	141,195	94,601	49.3

参考

項目	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	15.87	9.89	5.98
ラスパイレース指数	94.5	95.2	0.7

ラスパイレース指数及び職員数に係る項目については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである(以降の項目について同じ。)。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目を「-」としている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

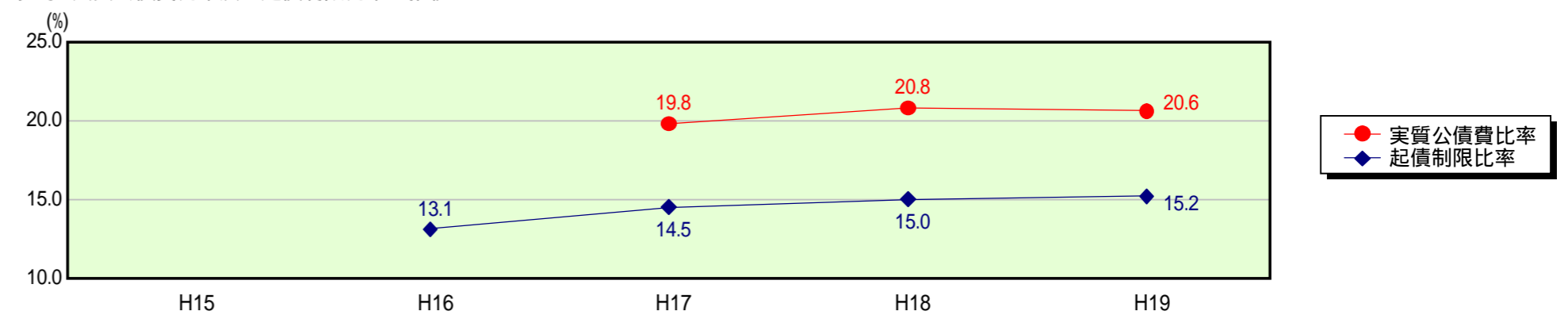


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	4,409,986	123,232	63,164	95.1
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	22	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	1,020,628	28,520	19,567	45.8
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	250,505	7,000	5,291	32.3
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	36,451	1,019	2,357	56.8
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	6,182	173	22	686.4
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	3,181,911	88,915	51,144	73.9
合計	2,541,841	71,029	39,279	80.8

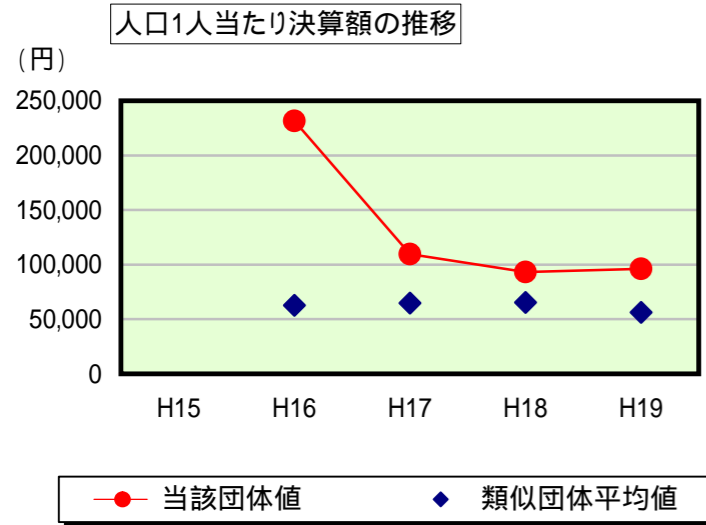
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、「-」としている(以降の項目について同じ。)

参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A) - (B)
H15	-	-	-	-	-	-
うち単独分	-	-	-	-	-	-
H16	8,674,367	231,390	-	62,709	-	-
うち単独分	6,766,663	180,502	-	43,432	-	-
H17	4,057,914	109,659	52.6	64,690	3.2	55.8
うち単独分	2,926,049	79,072	56.2	39,427	9.2	47.0
H18	3,385,052	93,080	15.1	65,235	0.8	15.9
うち単独分	2,247,002	61,787	21.9	35,265	10.6	11.3
H19	3,437,241	96,050	3.2	56,233	13.8	17.0
うち単独分	2,026,130	56,618	8.4	32,240	8.6	0.2
過去5年間平均	4,888,644	132,545	21.5	62,217	3.3	18.2
うち単独分	3,491,461	94,495	28.8	37,591	9.5	19.3